



戦後80年 平和を受け継ぐことの大切さ

校長 三浦利信

夏休み中の8月15日は「終戦の日」でした。昭和20年（1945年）の8月15日に第2次世界大戦を終えて80年という大きな節目を迎えました。80年前、日本は焼け野原となり、多くの人が家族や大切な人を失いました。その深い悲しみを乗り越えて、人々は「もう二度と戦争はしない」と誓い、平和な社会を築いてきました。

戦争当時、今の中学生と同じ年代だった方は、すでに90歳を超えています。羽村市で考えてみると、8月1日現在で90歳から99歳までの方は931人いらっしゃいます。人口に占める割合は1.7%です。逆に80歳未満の「戦争を知らない世代」は53,037人で全体の98.2%にもなります。平和の大切さを、しっかりと引き継ぐことが大切です。

戦争の記憶（記録）は、私たちに平和の大切さを教えてくれます。80年前の戦争では、多くの命が失われ、家族や友だちと笑い合う日常が突然に奪われました。今、皆さんが当たり前のように学校に通い、友だちと笑い合い、安心して暮らせるのは、先人たちの努力と願いがあったからこそです。けれども、世界には今も争いが絶えません。平和は誰かが守ってくれるものではなく、私たち一人ひとりが育て、守り続けるものなのです。

では、具体的にはどうすればよいのでしょうか。友だちを大切にすること、相手の考えを受け止めること、困っている人に手を差し伸べること、そんな日々の小さな行動こそが平和につながります。この戦後80年の節目に、「平和の意味」を考え、未来へつなげていきたいと思います。

実りの秋を迎えるために

開校79年目の「実りの秋」がスタートしました。夏休み期間に多くの経験を積んで、一回り大きくなった生徒たちの活躍が楽しみです。

1ヶ月後の10月4日には「第77回体育大会」が予定されています。今年度の体育大会のスローガンは「革故鼎新 ～伝統に挑む、新時代の鼓動～」になります。革故鼎新（かくこていしん）には、古い習慣や制度などを新しいものに改正するという意味があるそうです。76回の伝統がある羽村一中の体育大会ですが、「伝統を継ぐ」だけではなく、「伝統を作る」体育大会に挑みたいとする生徒の意欲が感じられるスローガンです。

アテネオリンピックと北京オリンピックの平泳ぎで2連覇を達成した、日本の競泳界を代表するアスリートの北島康介さんは、「負けを知ったとき、初めて勝つことができる。」と話しています。北島選手はオリンピックで金メダルを獲得し、日本のスポーツ史に名を刻んだアスリートですが、常に順風満帆だったわけではありません。挫折や敗北を経験し、それを糧にして大舞台で結果を残してきたのです。体育大会に向けて取り組む中で、うまくできないことや練習で勝てないことがあると思います。そんな時には、「負け（失敗）」を経験することは不可欠であり、その学びが成長へとつながることを思い出して欲しいと思います。

特に3年生は、2年前のインフルエンザでの学年開催や昨年の雨天中止の代替実施を乗り越えて、素晴らしい体育大会を創り上げてくれることを期待します。

一中あるばむ

学習や行事、部活動等に一生懸命に取り
組む一中生の素敵な様子を紹介します。

～ 青梅・羽村ピースメッセンジャー 7月31日（木）～8月2日（土） ～

本校1年生の三井健太郎君と2年生の新田小春さんが、市の平和学習事業「青梅・羽村ピースメッセンジャー」に参加し、夏休みに広島を訪れました。被爆電車や平和記念資料館、慰霊碑など各所を巡り、被爆された方から当時の体験を直接伺うことで、戦争の悲惨さや平和の尊さを学びました。事前学習では歴史的背景を調べ、事後には学んだことや感じたことをまとめながら、平和を守るために自分たちにできることを考えました。8月17日（日）には、プリモホールゆとろぎで他校の生徒と協力して報告会を行いました。ちょうどその日、羽村市動物公園で広島の被爆アオギリ二世の植樹式もあり、生徒の中には広島で見た被爆アオギリについて発表する人もいました。

自分の言葉で堂々と発表する姿は、平和への思いを多くの人に伝える力強いものでした。こうした学びの積み重ねは、生徒たちの心に確かに残り、これからの生き方に生かされていくことと思います。平和の大切さを未来へつなごうとする姿がとても立派でした。



～ 第71回 西多摩生徒会意見交換会 8月5日（火） ～

本校生徒会は、夏休みに開催された「第71回西多摩生徒会意見交換会」に参加しました。西多摩地区の6市町村から、今年は8校が集いました。各校の生徒会活動を発表し合い、その後は4つのグループに分かれて意見交換を行いました。他校の生徒と和やかに語り合う姿がとても印象的でした。本校は、今年度議長校として会の司会進行を務めましたが、どの学校よりも早く会場に到着し、机や椅子の準備・片付け、発表のサポートなど、運営全般を立派に担ってくれました。Wi-Fiの接続不良という予期せぬトラブルにも落ち着いて対応し、安心感を与えてくれました。堂々とした進行、協力を惜しまない姿勢、そして前向きに学びを吸収する態度に、議長校としての責任を見事に果たす頼もしさを感じました。他校の発表に学び、「自分たちの学校をもっとよくしたい」と前向きに考える姿勢も大変印象的でした。今後の生徒会活動のさらなる発展が楽しみです。



～ 引き取り訓練 9月11日（木）に予定されております。～

実際に災害が発生したことを想定し、保護者に迎えに来ていただき、確実に子ども達を保護者に引き渡すことができるようするための防災訓練の機会です。別途お知らせが出ておりますので、ご確認の上、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。